



2021年3月期 第2四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2020年10月28日

上場会社名 株式会社 エンチャー

上場取引所 東

コード番号 8208 URL <https://www.encho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠藤 秀男

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 奥野 孝

TEL 0545-57-0850

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	20,200	2.7	855	166.4	769	249.1	639	452.9
2020年3月期第2四半期	19,677	1.0	320	△10.8	220	△17.5	115	△31.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 730百万円 (818.0%) 2020年3月期第2四半期 79百万円 (△50.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	93.57	—
2020年3月期第2四半期	16.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	36,223	9,231	25.5	1,349.95
2020年3月期	35,839	8,534	23.8	1,248.10

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,231百万円 2020年3月期 8,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	1.3	850	209.2	700	519.4	600	—	87.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	6,857,497 株	2020年3月期	6,857,497 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	19,369 株	2020年3月期	19,341 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	6,838,148 株	2020年3月期2Q	6,838,256 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大における緊急事態宣言の発令がされ、外出自粛要請や各自治体の営業自粛要請等により個人消費は停滞し、経済活動は大幅に低下することとなりました。緊急事態宣言は解除され経済活動が再開する動きを見せましたが、感染症の収束時期の見通しが困難であることにより、今後の動向が経済に大きく影響する懸念もあり、先行きは一層不安定な状況が続いております。

ホームセンター業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、外出自粛要請や自治体の営業自粛要請により、「巣ごもり消費」が発生する等、個人消費に大きな変化が生じております。

このような状況の中で当社グループは、緊急事態宣言中に営業時間の短縮や一部店舗の休業等がありましたが、生活必需品を提供する社会的なインフラとしての役割を全うし、地域の皆様の生活を支えるべく、感染拡大防止に努めながら店舗営業を継続致しました。

また、人々の快適な住まい・暮らしをサポートする地域No. 1の企業グループを目指し、中期経営計画スローガンとして「ENCHOアクション」を掲げ、地域に根ざした品揃えの最適化と専門店事業推進による売上高の拡大、仕入力とコスト削減意識の強化による「収益力の向上」、在庫回転率の向上を図る「在庫の適正化」、業務の見直しなどによる働きやすい職場環境づくりを目指す「働き方改革」の取り組みを推し進めております。

店舗につきましては、2020年5月には、愛知県春日井市の「ジャンボエンチョー高蔵寺店」を業態変更し、ペットショップ「ブースクエア高蔵寺店」及びアウトドアショップ「SWEN高蔵寺店」としてリニューアルオープンし、同月、愛知県豊橋市にハードウェアショップ「ハードストック豊橋」をオープン致しました。8月には、静岡県御殿場市にアウトドアショップ「SWEN御殿場店」をオープン致しました。以上の4店舗を開店し、1店舗を閉店した結果、第2四半期連結会計期間末現在における店舗数は55店舗（ホームセンター23店、ハードストック10店、ダイソー2店、ブースクエア2店、c a s a 3店、SWEN14店、c a s a & SWEN 1店）となりました。

販売につきましては、ホームセンター事業において、新型コロナウイルス感染防止に関連する商品や、外出自粛に伴い生活様式が変化した影響等によりDIY用品全般、園芸用品、収納家具等が伸長した他、猛暑の影響により夏物季節品の販売が増加し、売上高は増収となりました。専門店事業においては、ハードウェアショップは新店の寄与に加えて既存店も引き続き堅調に推移し、アウトドアショップは休業の影響により一時的に前年を下回ったものの、その後好調に推移したことに加えて新店の寄与もあり、事業全体の売上高は増収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,200百万円（前年同期比102.7%）となりました。利益につきましては、売上総利益率が向上した他、チラシや集客イベントの自粛や営業時間短縮、休業等の影響により販管費が減少し、営業利益は855百万円（同266.4%）、経常利益は769百万円（同349.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は639百万円（同552.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ383百万円増加し、36,223百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、13,002百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加295百万円、商品の減少337百万円、流動資産のその他の増加46百万円によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ357百万円増加し、23,220百万円となりました。これは主に建物及び構築物の減少147百万円、建設仮勘定の増加357百万円、投資有価証券の増加131百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ312百万円減少し、26,991百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ213百万円増加し、17,024百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加991百万円、短期借入金の減少1,541百万円、未払法人税等の増加274百万円、流動負債のその他の増加488百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ525百万円減少し、9,967百万円となりました。これは主に長期借入金の減少397百万円、退職給付に係る負債の減少67百万円、固定負債のその他の減少49百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ696百万円増加し、9,231百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加605百万円、その他有価証券差額金の増加93百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、25.5%（前連結会計年度末は23.8%）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による収入2,831百万円、投資活動による支出340百万円、財務活動による支出2,194百万円の結果、前連結会計年度末に比べ295百万円増加し、2,450百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2,831百万円（前年同期比1,960百万円の収入増）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益871百万円、減価償却費312百万円、たな卸資産の減少額333百万円、仕入債務の増加額984百万円、未払消費税等の増加額192百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、340百万円（前年同期は80百万円の収入）となりました。この主な要因は有形固定資産の取得による支出364百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、2,194百万円（前年同期比1,563百万円の支出増）となりました。この主な要因は長短借入金の減少1,975百万円、リース債務の返済による支出162百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年9月23日「連結業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」で公表致しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,176	2,472
受取手形及び売掛金	841	859
商品	9,395	9,057
仕掛品	4	10
貯蔵品	28	27
その他	529	575
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,976	13,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,790	6,643
土地	12,335	12,335
建設仮勘定	98	456
その他（純額）	656	709
有形固定資産合計	19,880	20,145
無形固定資産	88	88
投資その他の資産		
投資有価証券	380	511
長期貸付金	786	737
敷金及び保証金	1,334	1,333
繰延税金資産	119	139
その他	276	267
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	2,893	2,985
固定資産合計	22,863	23,220
資産合計	35,839	36,223
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,306	6,297
短期借入金	9,324	7,783
未払法人税等	68	343
ポイント引当金	29	29
その他	2,081	2,570
流動負債合計	16,811	17,024
固定負債		
社債	230	207
長期借入金	8,353	7,955
退職給付に係る負債	273	205
資産除去債務	589	602
その他	1,046	996
固定負債合計	10,492	9,967
負債合計	27,304	26,991

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2020年 9 月30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,241	2,846
自己株式	△17	△17
株主資本合計	8,562	9,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	137
退職給付に係る調整累計額	△70	△73
その他の包括利益累計額合計	△27	63
純資産合計	8,534	9,231
負債純資産合計	35,839	36,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	19,677	20,200
売上原価	14,025	14,214
売上総利益	5,651	5,986
営業収入	631	576
営業総利益	6,283	6,563
販売費及び一般管理費	5,962	5,707
営業利益	320	855
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	9	9
その他	12	14
営業外収益合計	30	31
営業外費用		
支払利息	67	63
シンジケートローン手数料	60	43
その他	2	11
営業外費用合計	131	117
経常利益	220	769
特別利益		
違約金収入	—	120
特別利益合計	—	120
特別損失		
減損損失	30	18
その他	0	0
特別損失合計	30	19
税金等調整前四半期純利益	189	871
法人税、住民税及び事業税	76	285
法人税等調整額	△1	△54
法人税等合計	74	231
四半期純利益	115	639
親会社株主に帰属する四半期純利益	115	639

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	115	639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	93
退職給付に係る調整額	△10	△3
その他の包括利益合計	△36	90
四半期包括利益	79	730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79	730
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	189	871
減価償却費	309	312
減損損失	30	18
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△67	△67
受取利息及び受取配当金	△18	△17
支払利息	67	63
為替差損益 (△は益)	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	14	10
たな卸資産の増減額 (△は増加)	136	333
仕入債務の増減額 (△は減少)	633	984
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△32	192
その他	△250	174
小計	1,013	2,874
利息及び配当金の受取額	10	10
利息の支払額	△67	△61
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△85	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	870	2,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△185	△364
敷金及び保証金の差入による支出	△17	△16
敷金及び保証金の回収による収入	224	17
その他	59	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	80	△340
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	191	△1,325
長期借入れによる収入	964	976
長期借入金の返済による支出	△1,527	△1,626
社債の償還による支出	△23	△23
リース債務の返済による支出	△167	△162
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△68	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△631	△2,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	319	295
現金及び現金同等物の期首残高	2,290	2,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,610	2,450

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。